お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■　来週は教会の牧会運営会議会議があります。関係者は資料を今週中に提出して下さい。

■　来週の主日礼拝では、聖餐式が執り行われます。主の十字架を覚え、感謝と悔い改めをもって、心を整えてこの恵みにあずかりましょう。どうぞ今週一週間、祈りのうちに心備えをしてお過ごしください。

■　三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！

教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。この伝道法は、短く(約 3 分)、分かりやすく、聞く人の心に届く福音の要点を伝える、非常に効果的な方法です。今後、学びの機会や実践の時間も設けていきますので、ぜひ皆さんで覚えて、福音の橋をかける器として用いられましょう。

聖徒の為に祈りましょう。

・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTube ライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

水のほとりに植えられた
木のように
エレミヤ書 17:5～8

5【主】はこう言われる。「人間に信頼する者はのろわれよ。肉なる者を自分の腕とし、心が【主】から離れている者は。6 そのような者は荒れ地の灌木。幸せが訪れても出会うことはなく、焼けついた荒野、住む者のいない塩地に住む。7 【主】に信頼する者に祝福があるように。その人は【主】を頼みとする。8 その人は、水のほとりに植えられた木。流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、実を結ぶことをやめない。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 熊谷茂美(祈祷)
夕方賛美礼拝 柳澄香(賛美リーダ) 平澤寿子(祈祷)
水曜礼拝 北原孝子(司会) 柳澄香(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝　AM 11:00
夕方賛美礼拝　PM 2:30
教会学校（小学生まで）　AM 9:50～10:30
水曜礼拝　PM 7:00
祈祷会．火・木曜日　PM 8:30～9:30
土曜日　PM 8:00～9:00

週報 2025-26 号　2025.6.29

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

395-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧　師　柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師　柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　韓芽唯

信仰告白　　（使徒信条）

代表祈祷　　高木はつ江

特別賛美　　インマヌエル聖歌隊

ハッピー

お知らせ

聖書個所　　エレミヤ 17:5-8

（水のほとりに植えられた木）

メッセージ　　柳承吉牧師

賛　美　　神の家族

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　韓芽唯

代表祈祷　　北原明子

聖書個所　　ルカの福音書 13:6-9

メッセージ　　柳承吉牧師

(信仰の本質と実)

主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　　会　　松島スヤンティ

代表祈祷　　高木はつ江

聖書個所　　ローマ書 6:12-23

メッセージ　　柳 承吉牧師

(ローマ書 6 章の概略-4)

今週の御言葉

水のほとりに植えられた木のように

エレミヤ書 17:5～8

Ⅰ．時代背景と警告（17:5-6）

エレミヤは、紀元前 600 年ごろ南ユダ王国が滅亡の危機にある時代に活動した「涙の預言者」でした。ユダの民はバビロンの脅威にさらされながらも、真の助けである神に立ち返らず、エジプトなど人間の力を頼りにしようとしました。その結果、神を捨てた民はバビロンに滅ぼされ、多くが捕囚として連れて行かれました。

この状況の中で、エレミヤは叫びます。「【主】はこう言われる。人間に信頼し、肉なる者を自分の腕とし、その心が【主】から離れている者は呪われよ。」神を離れ、人間の力に頼る者は「荒地のむろの木」のようだと語られます。

外見はあっても実がなく、苦しみと乾きに満ちた人生の象徴です。

Ⅱ．祝福の人生の姿（17:7-8）

では、どんな人が祝福されるのでしょうか？

【主】に信頼し、【主】が拠り頼みである者は幸いである。「その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実を実らせる。」

この木のような人生こそ、神との正しい関係に生きる人の姿です。根が水源につながっているゆえに、外的な環境が変わっても、影響されず、実を結び続けるのです。

Ⅲ．神との関係が人生を決める

詩篇 127:1 では、「主が家を建てるのでなければ、建てる者の働きはむなしい。」と語られます。人間の努力があっても、神との関係がなければ全てはむなしいものとなります。ヨハネ第三 2 節もまた語ります。「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているように、すべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。」

たましいに幸いをえることが、人生全体の祝福の鍵です。

Ⅳ．神との関係の築き方

イエス様はこう言われました。「まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」（マタイ 6:33）

また、ヨハネ 15 章では、「ぶどうの木と枝」のたとえで、「とどまること」の大切さを語られました。「わたしはぶどうの木、あなたがたは枝です。…わたしを離れては、あなたがたは何もすることができない。」（ヨハネ 15:5）

神との関係を保つ鍵は、御言葉と祈りです。

Ⅴ．勝利の人生へ

水のほとりに植えられた木のような人生は、外的な試練にも揺るがされません。「暑さが来ても暑さを知らず…干ばつの年にも心配なく…実を実らせる。」

パウロもこう語ります。「私たちを愛してくださった方によって、私たちは圧倒的な勝利者です。」（ローマ 8:37）

イエス様も約束されました。「しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝ちました。」（ヨハネ 16:33）

皆さん、今どんな人生の選択をされますか？

人間の力に頼る「むろの木」のような人生なのか？

それとも、神に根差し、実を結び続ける「水辺に植えられた木」のような人生なのか？

今日この御言葉に応答し、神との関係を第一にし、祈りとみことばによって主にとどまり、豊かな実を結ぶ信仰生活を共に歩んでまいりましょう。アーメン。